

台北医学大学薬学部の臨床薬学トレーニングプログラムコースへの参加

2018年8月25日から9月5日の約2週間にかけて、長崎大学田添グローバル交流推進基金奨学金制度、薬学部125周年記念事業寄附金の支援を得て、薬学部薬学科4年次生2名が、台湾にある台北医学大学薬学部の臨床薬学トレーニングプログラムコースに参加しました。本プログラムは、台北医学大学薬学部が毎年夏季に開催している短期研修コースで、本学からは薬学科の学生が毎年1~2名参加しており、台北医学大学附属病院の薬剤部見学と薬学部の研究室での実験体験や学生との交流が主な内容となっています。

参加した学生からは、「台北医学大学附属病院薬剤部では、試験的ではあったが、処方箋を読み取り自動で調剤を行う機械が導入されており、将来の調剤はこうなるのかとの印象を持った。」、「研修中は、英語で自分の研究内容を説明したり、台北医科大学の教育・研究・診療について説明を受けたりしたが、台北医学大学の学生はとても英語のレベルが高く、日常会話から研究内容まで英語でコミュニケーションをとっていた。同じ薬学を学ぶ者同士で医療について話し合えたことはとても有意義だった。」との感想がありました。

なお、本プログラムの内容は、2018年10月28日に、熊本大学で開催される高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発シンポジウム「アドバンスト教育研究プログラムのグローバルな展開」において、学生2名から長崎大学の取組として報告されます。

